

家畜衛生だより

令和5年4月発行
最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
Tel: 29-1357 Fax: 23-2944

ゴールデンウィーク期間中における口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱等の防疫対策の再徹底をお願いします！

以下のことに留意して病原体の侵入を防ぎましょう！！

伝染性疾病発生地域への渡航自粛

消毒及び病原体持込みの防止

◇農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする際の消毒徹底。
畜舎専用の手袋・靴の着用、手指の消毒、
持ち込み物品の消毒。



畜舎周囲への
消石灰散布

◇野生動物の農場への侵入防止対策の徹底
(例)



←農場周辺に柵
を設置

堆肥舎等への
防鳥ネット設置→



飼養家畜の健康観察、早期発見・通報

◇飼養家畜を毎日観察し、家畜に異常(口やひづめに水ぶくれ発生、よだれの多量分泌など)がみられた場合は、**すぐに家畜保健衛生所に連絡**



裏面へ続く

口蹄疫の症状

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

～豚の症状～



接種3日目



多数の水疱病変を確認

接種4日目



豚熱（CSF）の症状

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がなく重なりあう



結膜炎

写真出典：岐阜県

アフリカ豚熱（ASF）の症状



死亡



紫斑(チアノーゼ)

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

最上家畜保健衛生所 電話 0233-29-1357 (休日・夜間も対応)